

# 世界難民の日 2023 in 鎌倉

世界の難民は1億人を超えています。迫害から逃れて来日する難民も増えています。

鎌倉市は 2023 年6月 27 日 UNHCR と自治体との連携強化を目指すグローバルキャンペーン

「難民を支える自治体ネットワーク」に参加します！

鎌倉で難民を受入れ、難民を支えるにはどうしたらよいか、共に考えませんか？

## 6月24日（土） 14:00 ~ 16:30

13:30 開場

## 鎌倉商工会議所ホール

(鎌倉市御成町 17-29、鎌倉駅西口より徒歩 5分)

### プログラム

- ・難民映画上映「僕の帰る場所」(2017年 / 98分 / 日本・ミャンマー)
- ・トークショー 藤元明緒 監督 X 鎌倉在住ミャンマー人 (予定)
- ・難民を支える自治体ネットワークについて

参加費 無料 (会場募金にご協力ください)

定員 80名 (先着順、定員になり次第締め切らせていただきます)

申込方法 QRコードからお申込みください。

QRコードはデンソーウェブの登録商標です。



参加申込フォーム

主催：NPO 法人アルペなんみんセンター

鎌倉市十二所 80 Tel 0467-55-5422 info@arrupe-refugee.jp

後援：神奈川県(申請中) / 鎌倉市(申請中) / 公益財団法人かながわ国際交流財団

UNHCR 駐日事務所 / 国連 UNHCR 協会



藤元明緒 (ふじもと あきお) 監督

1988年生、大阪府出身。ビジュアルアーツ専門学校大阪で映像制作を学ぶ。日本に住むあるミャンマー人家族の物語を描いた長編初監督作『僕の帰る場所』(18/日本=ミャンマー)が、第30回東京国際映画祭「アジアの未来」部門2冠など受賞を重ね、33の国際映画祭で上映される。長編二本目となる『海辺の彼女たち』(20/日本=ベトナム)が、国際的な登竜門として知られる第68回サンセバスチャン国際映画祭の新人監督部門に選出。同作にて、新藤兼人賞2022金賞、第3回大島渚賞を受賞。現在、アジアを中心に劇映画やドキュメンタリーなどの制作活動を行っている。

### UNHCRグローバルキャンペーン

「難民を支える自治体ネットワーク」とは？ (UNHCR ホームページより)

国連難民高等弁務官事務所 UNHCR では自治体との連携を強化しています。すでに世界では、各地の自治体が立ち上がり、市民社会を巻き込みながら、さまざまな形で難民支援の輪を広げています。UNHCR と自治体との連携強化を目指すグローバルキャンペーン「難民を支える自治体ネットワーク」(英語名: Cities #WithRefugees) にも、日本を含めた世界 55 カ国・286 の自治体 (2023 年5月 19 日時点) が参加しています。UNHCR は自治体と連携を強化し、SDGs (持続可能な開発目標) で掲げられている “誰一人取り残さない” 世界の実現を目指します。



## ある在日ミャンマー人家族に起きた、切なくも心温まる感動の実話

東京の小さなアパートに住む、母のケインと幼い二人の兄弟。入国管理局に捕まった夫アイセに代わり、ケインは一人家庭を支えていた。日本で育ち、母国語を話せない子ども達に、ケインは慣れない日本語で一生懸命愛情を注ぐが、父に会えないストレスで兄弟はいつも喧嘩ばかり。ケインはこれからの生活に不安を抱き、ミャンマーに帰りたい想いを募らせてゆくが――。

世界的な関心事項である”移民“という題材を、ミャンマーでの民主化の流れや在日外国人の家族を取り巻く社会を背景に描く。本作には演技経験のないミャンマーの人々が多数出演。まるでドキュメンタリーを思わせる映像は、ミャンマー人一家の生活を優しく見守りつつ、シビアな眼差しで貫かれている。

## 日本人監督初！東京国際映画祭で2冠の快挙！！世界の映画祭が注目

ミャンマー政府の厳しい検閲を通過し、企画から5年を経て完成した本作。東京国際映画祭「アジアの未来」部門ではグランプリと監督賞を、オランダ・シネマシア映画祭では子役のカウン・ミャット・トゥが最優秀俳優賞を受賞。国内外の数々の映画祭に招待上映され、アジアの話題作の一つ

として注目を浴びている。東京国際映画祭の授賞式では、“ある家族の物語を繊細に語ることで、世界中の様々な家族のメタファーとなっている。フィクションを用い、現実の困難さを素晴らしく芸術的に描き、大変優れた映画的な価値と演技を持つ作品だ”と評された。

心を込めて語られた人間味のあるリアルな物語は、役者たちの誠実な表現によって観る者の心を動かす。ブリランテ・メンドーサ（映画監督『ローサは密告された』）

子どもたちの演技を超えた演技は右に出る映画なし。少年の成長に逞しさを感じる稀有な映画だ。行定勲（映画監督『リバーズ・エッジ』『ナラタージュ』）

監督・脚本・編集：藤元明緒 キャスト：カウン・ミャット・トゥ ケイン・ミャット・トゥ アイセ テツ・ミャット・ナイン 来河侑希 黒宮ニイナ 津田寛治  
撮影監督：岸建太郎 / 音響：弥栄裕樹 / 美術：飯森則裕 / ヘアメイク：大江一代 / 制作担当：半田雅也 / 音楽：佐藤和生 / スチール：伊藤華織 / 共同プロデューサー：キタガワユウキ /  
プロデューサー：渡邊一孝 吉田文人 / コーディネーション(ミャンマー)：Aung Ko Latt Motion Pictures / 協賛：坂和総合法律事務所 株式会社ビヨンドスタンダード 長崎大学多文化社会学部 Ability South East Asia, Co., Ltd. 株式会社熊谷組 / 協力：在ミャンマー日本大使館附属ヤンゴン日本人学校 ミャンマー映画祭実行委員会 / 特別協力：MYANMAR JAPON CO.,LTD. / 後援：外務省 観光庁 国際機関日本アセアンセンター 一般社団法人日本ミャンマー友好協会 / 主催：特定非営利活動法人日本・ミャンマーメディア文化協会 / 企画・製作・配給：株式会社 E.x.N / 宣伝：佐々木瑠都  
2017年 / 日本=ミャンマー / 98分 / カラー / ステレオ / 1:1.85 / 日本語・ミャンマー語 / ドラマ / DCP ©E.x.N K.K. [passage-of-life.com](http://passage-of-life.com)



## 世界難民の日 2023 in 東京

世界・日本・わたし ～ミャンマーの子どものまなざしを受けて～ 映画「僕の帰る場所」とトーク

6/20 (火) 18:30 ~ 20:30 青山学院大学(青山キャンパス)・ガウチャー記念礼拝堂

主催 青山学院大学 総合文化政策学部 (問い合わせ先: [goken6@scs.aoyama.ac.jp](mailto:goken6@scs.aoyama.ac.jp))

共催 NPO 法人アルペなんみんセンター / 特定非営利活動法人 山岳民族子供支援プロジェクト 後援: 国連 UNHCR 協会

参加費：無料



参加申込フォーム